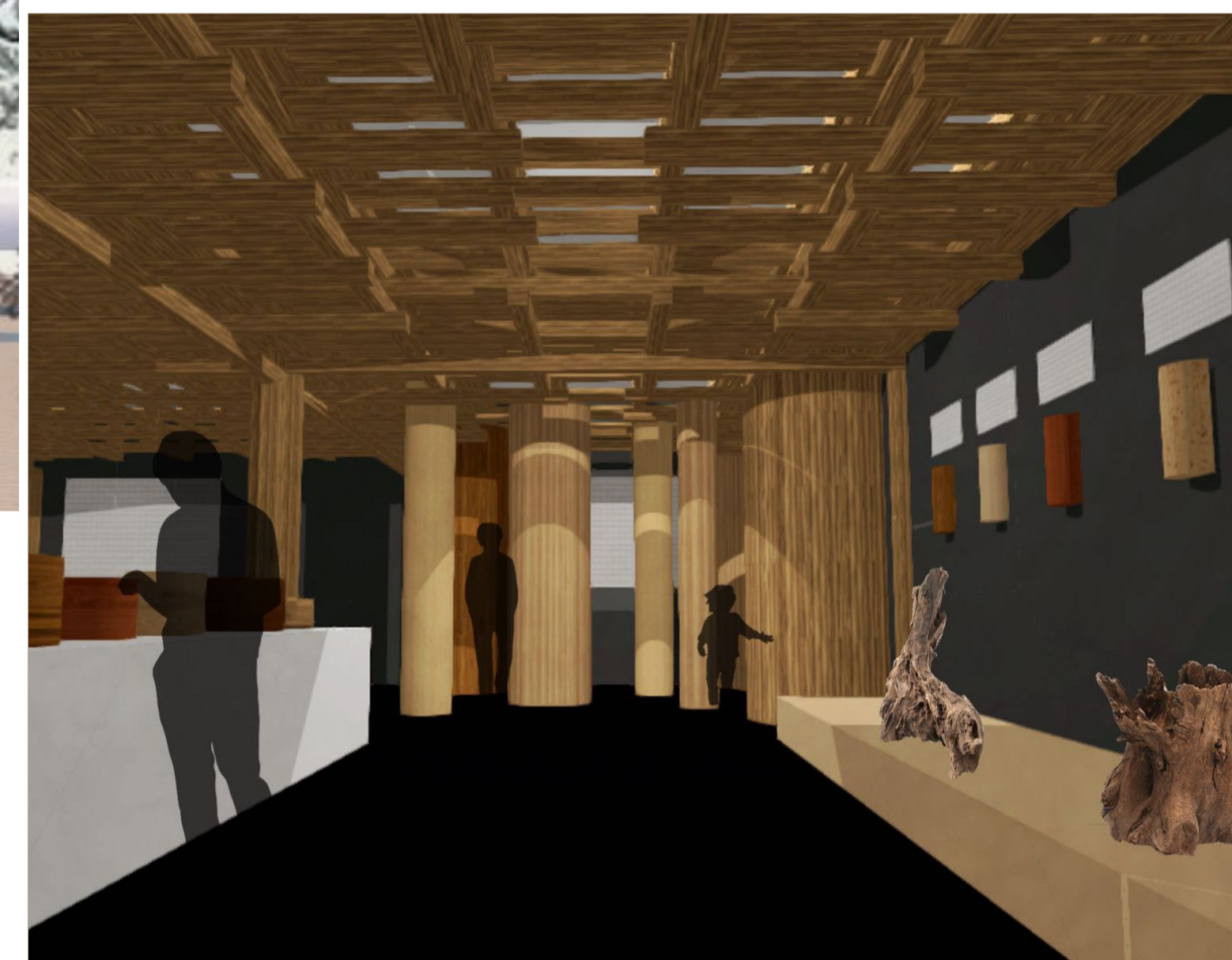


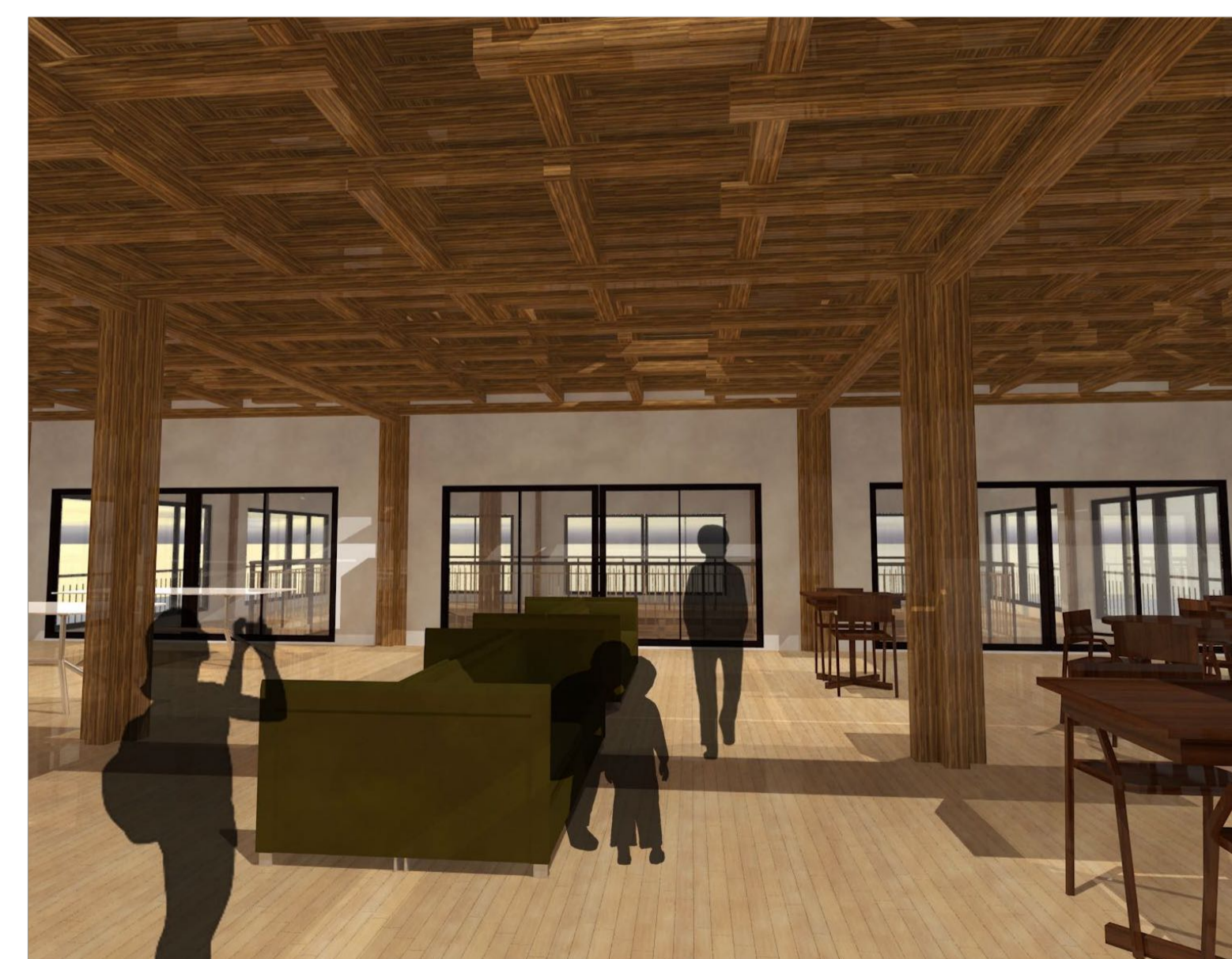
木の学びの館



1階 木の遊び場
吹き抜けの開放的な空間となっており、部屋の中には様々な大きさの木材や木の枝が用意されている。ここでは大人も子供も木材を使って好きなものを作ることが出来る。自由に木で遊ぶことで、木に触れる機会を増やし木の魅力を知ってもらいたい。



1階 展示室
木材、森林についてを展示している。ただ見るだけの展示では無く、触れることのできる展示だったり、実際の木の大きさを再現した展示などで子供でも楽しめるような工夫がされている。



2階 カフェ・ショップ
一階よりも明るく重ね梁がよく見え印象的であり、まるで木に囲まれた空間となっている。カフェのインテリアでは多様な種類の木材を使用、ショップには木工品が売られている。

計画敷地



敷地は秋田市の千秋公園近くとする。中心街に近いこと、図書館や秋田市文化創造館が近くにあることから、人通りはそれなりに多く、幅広い年代の来客が期待できるだろう。

林業の現状

〈現状〉
森林所有者の林業への関心低下
公共建築等の木造化・木質化を促進
木材製品の出荷・販売を促進

↓

森林所有者や一般市民の林業や木への興味が必要

↓

〈解決策〉
林業・木について興味が湧き、正しい知識を得られる場所の提供

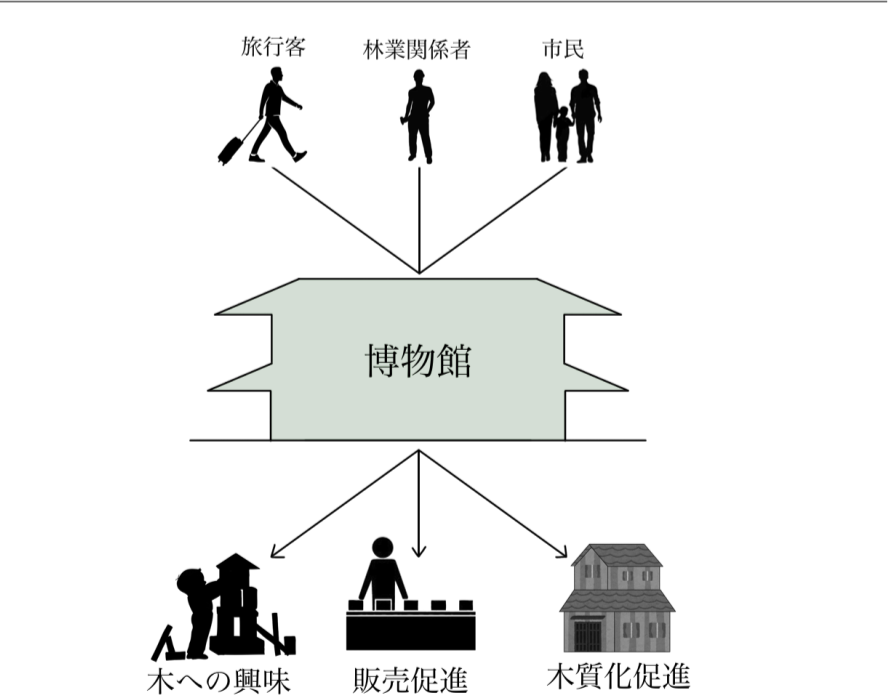
コンセプト

「体験して学習する」

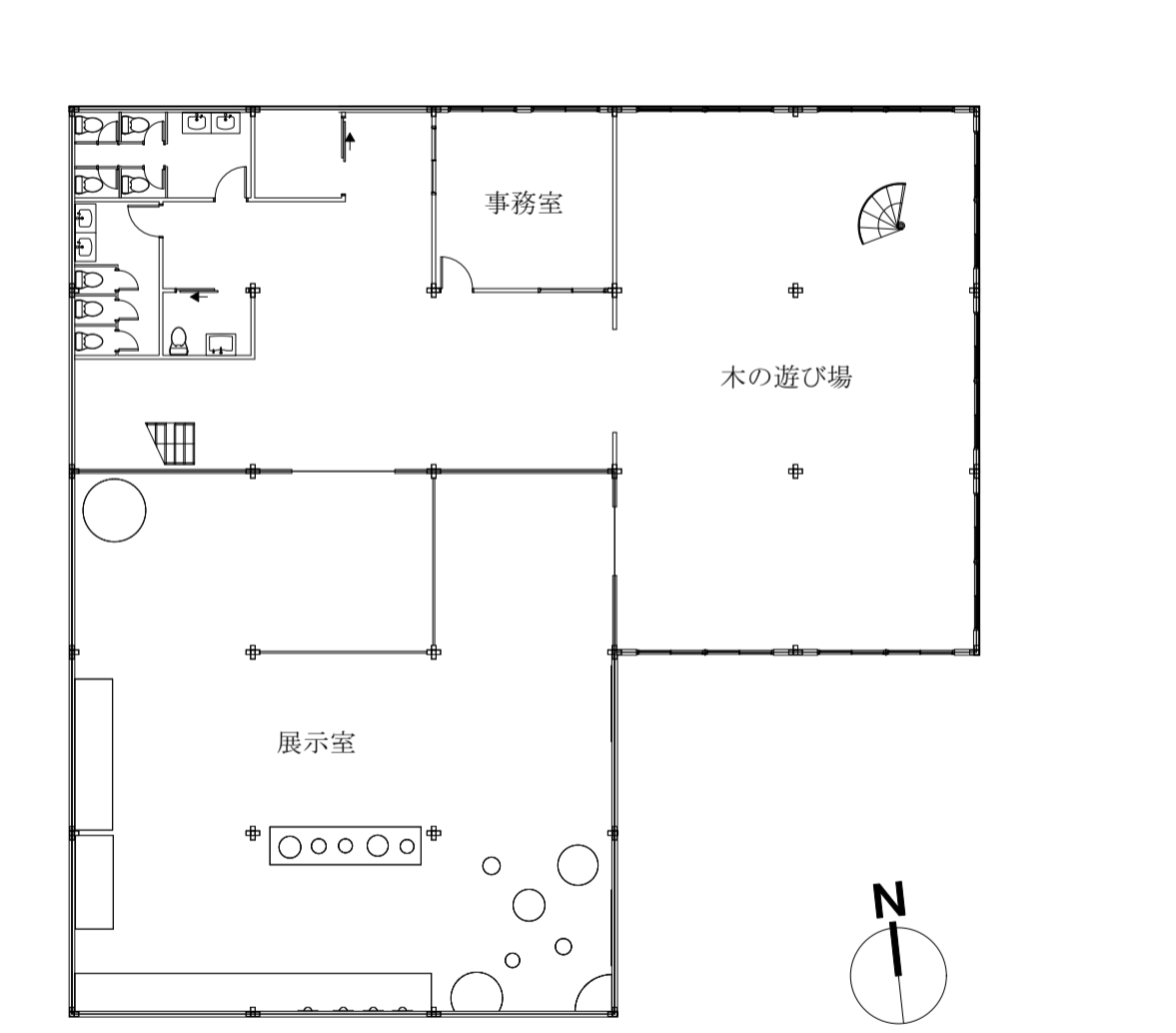
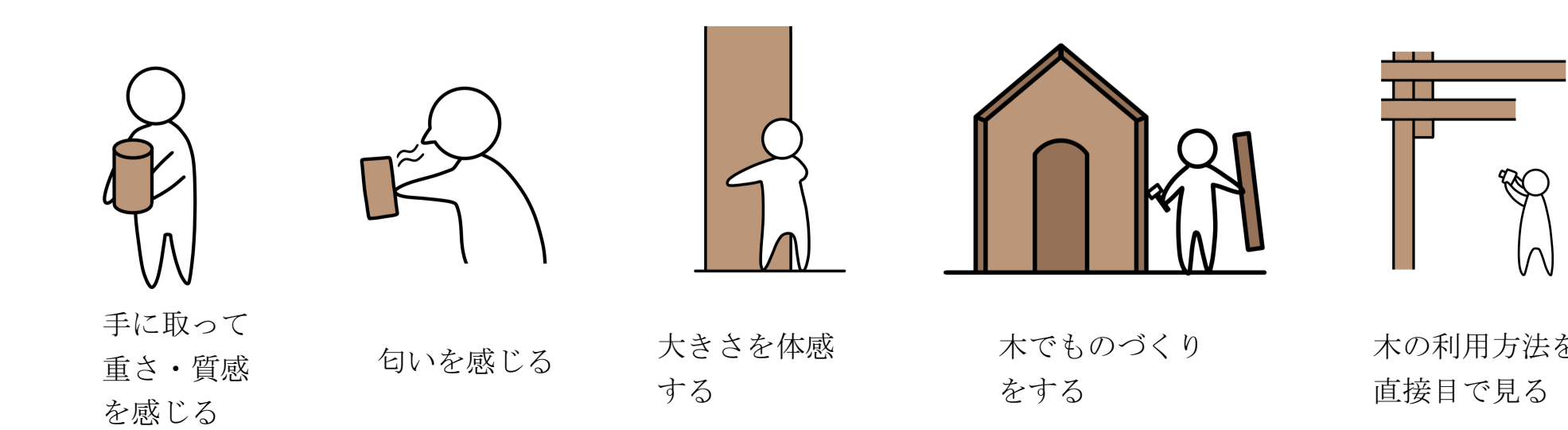
見るだけではなかなか理解出来なかったり、面白くない物でも、手に取ってみたり自分で作って見ること面白さを見出し記憶に残るものになる。

この学びの館では、普段の生活では学ぶことのできない森林や木について体験するというを通して興味をもってもらい正しい知識をつけられるように計画した。

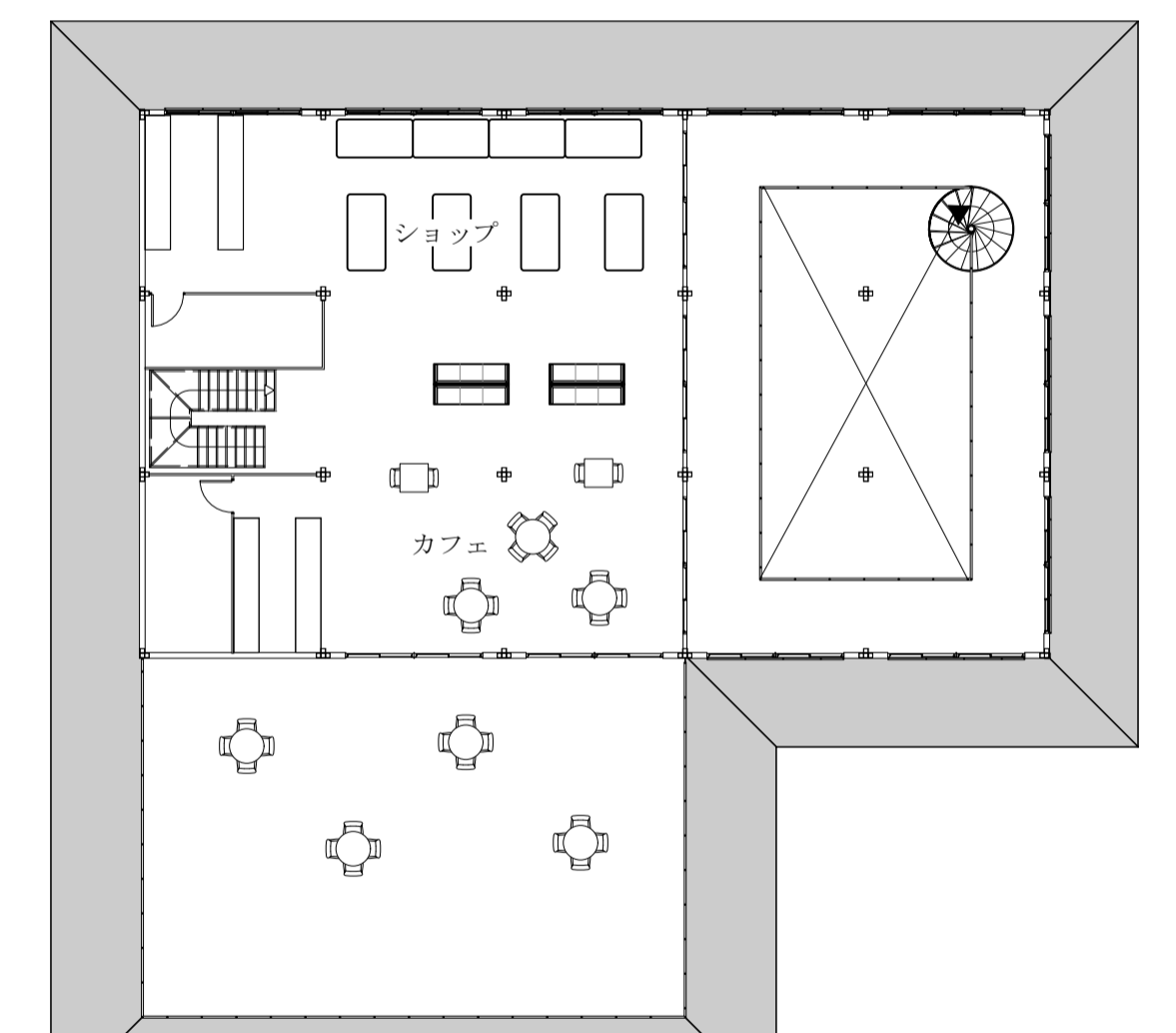
これによって少しでも多くの人の森林に対する興味を引き出すことで、森林再生活動への手助けとなれば良いと思う。



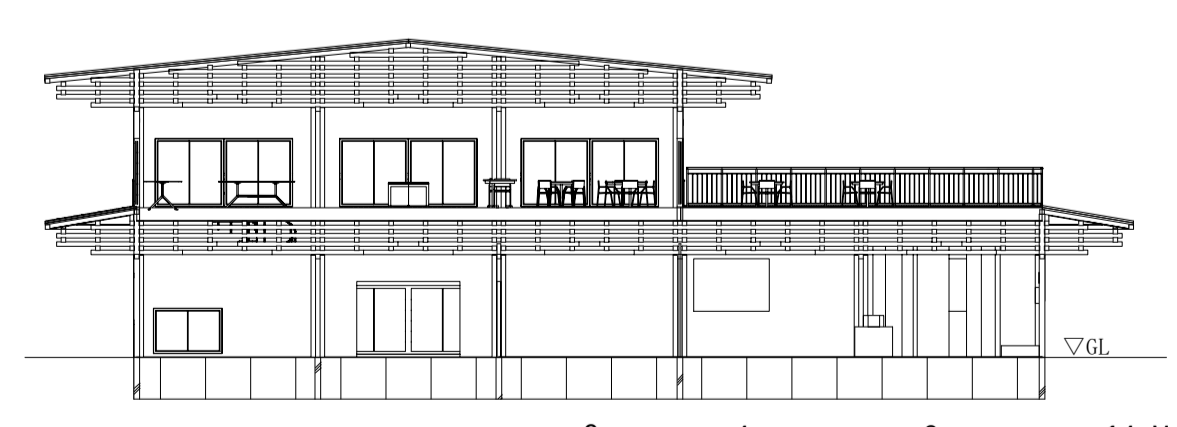
木を学ぶ体験



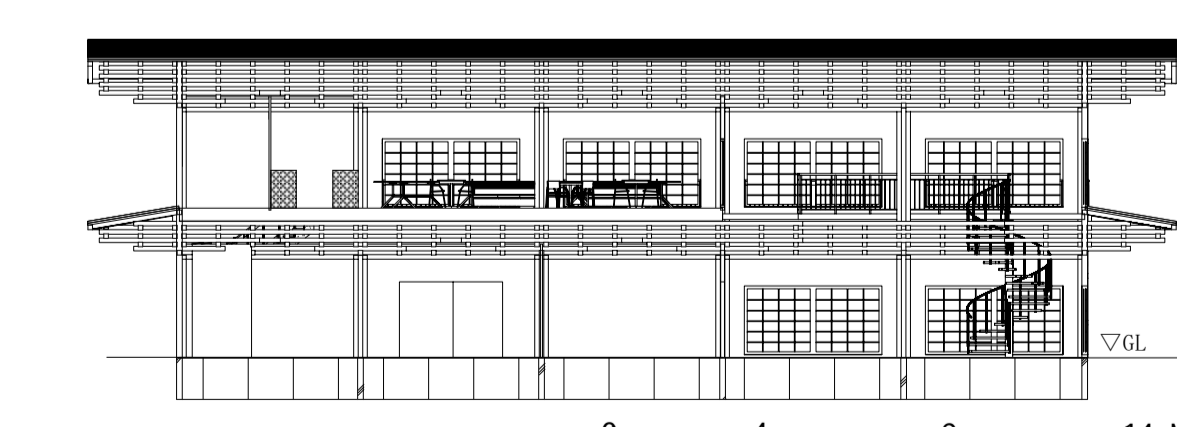
1階平面図 1:200



2階平面図 1:200



東西断面図 1:200



南北断面図 1:200

重ね梁のプロセス

